

標 題	島根大学から講師を招き夏期栽培研修会を開催！ (JAしまね平田柿部会)
-----	--

(ダイジェスト)

JAしまね出雲地区本部平田柿部会（部会員90名）は、恒例の夏期栽培研修会を8月21日に開催しました。今年は島根大学から講師を招き、最新の研究テーマについての見識を深める場となりました。

JAしまね出雲地区本部平田柿部会は、部会員の栽培技術・知識のレベルアップを図るため、島根大学から講師を招き、夏期栽培研修会を開催し、約30名が参加しました。

研修会では島根大学生物資源科学部の江角智也准教授から「最近の柿の基礎研究」と題して講演があり、西条柿の品種・系統特性や西条柿の雄花から採取した花粉を用いて、新たな系統を育種・開発するための基礎的な研究を進めていることが説明されました。

また西条柿雄花の花粉は稔性が弱いことから、特定の枝に雄花を人為的に誘導し、その花粉を着果安定のための受粉に用いるような方法が開発できれば、種子のない西条柿果実の生産に繋がる可能性があると言われました。

その後、当事務所から、「果樹産地再生に向けた取組み状況」と「気象変動に対応した柿栽培」について説明を行いました。

今回の研修会は柿の学術的な話や、産地を活性化するための取組み等、多岐にわたる内容でしたが、参加者は真剣に耳を傾け、各講演が終わる毎に多くの質問があり、盛況な研修会となりました。

今後、平田柿部会では9月21日に出荷総会が開催され、10月から本格的に令和元年産の出荷が始まります。普及部では、引き続き関係機関と連携し、販売目標額3億円の達成に向け支援を続けていきます。



西条柿の雄花について解説する江角准教授